

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
疾病と傷害2						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・夜間部	2年	4期	澤田 海彦		○	
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	疾病と傷害		座学	1	10	
科目概要						
多くの患者は、複数の慢性疾患および合併症を有し、多種類の薬を使用していることが多い。柔道整復師として患者の治療にあたるには、患者の有する疾患の既往、現状態、合併症や医師から受けている治療、服用中の薬などについて十分な情報と知識を習得する必要がある。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として患者を正しく理解し、治療できるようになるために、各臓器に起こる代表的な疾患の基礎的知識を習得する。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、数値的な指標(合格基準)	呼吸器、循環器、消化器(消化管)に起こる代表的な疾患の 1. 原因を列挙することができる。 2. 病態を述べることができる。 3. 徴候を列挙することができる。 4. 診断の概要を述べるができる。 5. 合併症・予後について述べるができる。 6. 治療についての概略を理解する。					
履修に必要な予備知識や技能						
授業内容を理解するためには生理学・病理学概論で学習した関連事項についてノート、教科書などで復習をしてから授業に臨むこと。疾病と傷害1で学習した所見と各疾患との関連を結び付けて理解すること。						
教科書・参考書						
教科書:一般臨床医学 改訂第3版 参考書:生理学 改訂第4版、						
受講上の注意						
成績評価方法						
評価方法	定期試験 <small>(小テスト (チェックテスト))</small>	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90				10	100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	A呼吸器疾患			99～118	教科書・プリント	
第2回	A呼吸器疾患			99～118	教科書・プリント	
第3回	A呼吸器疾患			99～118	教科書・プリント	
第4回	B循環器疾患			118～129	教科書・プリント	
第5回	B循環器疾患			118～129	教科書・プリント	
第6回	B循環器疾患			118～129	教科書・プリント	
第7回	C消化器(消化管)疾患			129～136	教科書・プリント	
第8回	C消化器(消化管)疾患			136～141	教科書・プリント	
第9回	定期試験					
第10回	定期試験解説					
実務経験と本講義との関連について						
医師免許取得(昭和43年)後、内科医師として、大学病院および公立病院で、医学生の指導をよび、外来、入院患者の診療を担当した。						
メールアドレス						
sawada-t@nihonisen.ac.jp						